

つなぐ

～世代・地域・伝統～

平成24年度～28年度

運営方針

文化をはぐくみ
夢ふくらむ未来をめざします



財団法人所沢市文化振興事業団

目次

理事長あいさつ 1

運営方針 骨子 2

運営方針

1 優れた芸術文化を提供・発信していきます 5

2 文化振興を通じて豊かな社会づくりに貢献します 9

3 利用しやすいミューズをめざします 13

4 健全な事業団経営に努めます 15

5 安全・安心な施設の維持管理に努めます 19



つ な ぐ

～ 世代・地域・伝統～

財団法人所沢市文化振興事業団の今後5年間（平成24年度から28年度）の目標となります「運営方針」の策定にあたりまして、ごあいさつを申し上げます。

当事業団は、地域における文化の発展と豊かな市民生活の形成に寄与するため、平成5年の所沢市民文化センター・ミュージズの開館以来、施設の管理運営を行い、地域の芸術文化の振興に役員をはじめ職員一丸となり取り組んでまいりました。おかげをもちまして平成25年には、開館20周年を迎えますとともに、これまで大変多くの市民の皆様にご利用いただき、心から感謝を申し上げます。

さて、当事業団は、平成24年度から、所沢市民文化センター・ミュージズの指定管理者として第3期目のスタートを切ることになりました。今回の運営方針につきましては、指定管理者として現状にとどまることなく、前回方針の検証とともに、平成22年12月に実施しました市民アンケートの結果や、日頃、皆様からいただくご意見や各自主事業でのアンケート等も参考に策定をいたしました。

これからも、「文化をはぐくみ 夢ふくらむ未来」をめざし、「世代」・「地域」・「伝統」をつなぐことで、ミュージズ開館以来、多くの皆様と紡いできました芸術・文化の絆が、さらに深められますよう、この「運営方針」に掲げました課題ひとつひとつに取り組んでまいります。

結びにあたり、所沢市民文化センター・ミュージズが、今まで以上に市民の皆様にあいさされ、誇りと思っただけできるよう努力してまいりますので、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年3月

財団法人所沢市文化振興事業団 理事長 藤本 正人



財団法人所沢市文化振興事業団 運営方針／5年間の目標（平成24～28年度） 文化をはぐくみ、夢ふくらむ未来をめざします

【5つの目標と課題、方策】

運営方針では、**1**優れた芸術文化を提供・発信していきます **2**文化振興を通じて豊かな社会づくりに貢献します **3**利用しやすいミューズをめざします **4**健全な事業団経営に努めます **5**安心・安全な施設の維持管理に努めます の5つの目標を掲げ、それぞれについて課題と方策を提示しました。今後は、ここに示した方策について、事業計画や施設の管理運営、事業団運営の中で具体的に取り組んでいきます。

1 優れた芸術文化を提供・発信していきます

- ①音楽、演劇、伝統芸能、映画、展示会などの優れた芸術文化の鑑賞の機会を提供します。
 - ・ 著名なアーティストによる公演の充実
 - ・ 優れた作品の積極的な紹介
- ②多くの市民が芸術文化に触れる機会を提供します。
 - ・ 市民の誰もが芸術文化に気軽に親しめる公演の充実
 - ・ アウトリーチ事業（出張コンサート）などの充実
 - ・ 情報市場（中庭）でのイベントの実施
- ③ミューズのシンボル、パイプオルガンの普及
 - ・ 優れたアーティストによる公演の充実
 - ・ 若手オルガニストの育成
 - ・ 気軽に鑑賞し、体験できる機会の充実
- ④誰もが参加できる体験講座などを開催します。
 - ・ 市民参加事業の拡大
 - ・ 青少年の豊かな人間性を育む事業の拡大
 - ・ 文化講座やワークショップの開催
- ⑤芸術文化に関わる情報を積極的に収集して広く発信します。
 - ・ 芸術文化情報の収集・発信
 - ・ 広報媒体の充実
 - ・ ホームページを活用した新鮮な情報の発信

2 文化振興を通じて豊かな社会づくりに貢献します

- ①芸術文化を通じて地域コミュニティの活性化を促進します。
 - ・ まちづくりセンターなどと連携した地域の活性化の支援
 - ・ 市内の教育機関、文化団体や市民団体との連携
 - ・ 青少年や高齢者等、市民のための無料招待公演の実施
- ②地域の芸術文化団体・芸術家などの支援と育成をめざします。
 - ・ 市内文化団体の活動支援
 - ・ 市内在住・出身の芸術家の活動支援
 - ・ 芸術家を目指す学生の活動支援

③創造事業を推進し、広く発信していきます。

- ・ 芸術家の創造活動の支援
- ・ 市民参加による芸術的創造の促進
- ・ 創造事業の推進と発信

3 利用しやすいミューズをめざします

①利用しやすいミューズをめざします。

- ・ 申請・受付時のサービスの充実
- ・ 利用者ニーズの把握と対応

②親しみやすいミューズをめざします。

- ・ お客様ニーズの把握と迅速な対応
- ・ メンバーズ倶楽部の充実
- ・ 効率的で利用しやすいチケット販売方法の充実

4 健全な事業団経営に努めます

①健全な組織体制づくりを進めます。

- ・ 適正な人員管理
- ・ 人事評価制度の活用
- ・ 人材の育成
- ・ 個人情報保護
- ・ 積極的な情報公開

②健全な財政運営を進めます。

- ・ 予算の効率的な執行
- ・ 事業評価制度の活用
- ・ 自主財源の確保

5 安全・安心な施設の維持管理に努めます

①環境に配慮した地球にやさしい施設の維持管理に努めます。

- ・ 省資源・省エネルギーの推進
- ・ 廃棄物の減量化・再資源化の推進

②安全・安心な施設の維持管理に努めます。

- ・ 小さなお子様、身体の不自由な方、高齢者にもやさしい施設の維持管理
- ・ 施設改修等の計画的な推進
- ・ 災害時の対応についてのスキルの向上

1

優れた芸術文化を提供・発信していきます

1 優れた芸術文化を提供・発信していきます

課題 ①音楽、演劇、伝統芸能、映画、展示会などの優れた芸術文化の鑑賞の機会を提供します。

《現状と今後の方針》

所沢市民文化センター ミューズ（以下、ミューズ）は、1993年に本格的な3つのホールを有する文化施設としてオープンし、埼玉県はもとより関東圏でも屈指の規模を誇ります。ミューズには、市民の誰もが親しみやすい事業展開と、同時に芸術文化の殿堂として広く世界に発信される水準の高い自主事業展開が求められます。そこで、今後も多くの市民が豊かで文化的な生活を実感できるように、音楽、演劇、伝統芸能などの優れた芸術文化の鑑賞の機会を提供していきます。

具体的な方策	<p>●著名なアーティストによる公演の充実</p> <p>クラシック、演劇・ミュージカル、ポピュラー音楽、落語など様々なジャンルにおいて人気・実力ともトップクラスの著名なアーティストによる公演を身近に鑑賞できる機会を充実していきます。</p>
	<p>●優れた作品の積極的な紹介</p> <p>音楽や演劇、能楽・歌舞伎・寄席などの日本の伝統芸能をはじめ世界各地の民族芸能などを幅広く紹介していきます。また様々な事業を通じて、名作として親しまれている作品を積極的に取り上げ、幅広く紹介していきます。</p>

指標	自主事業の観客入場率（全事業の年平均）	【現状値】70%（3年間）⇒【目標値】75%（5年間）
	<p>【説明】優れた芸術文化の鑑賞の機会を提供するための取り組みの成果を示す指標です。現状値は平成20年度から22年度の3年間で実施した事業団の全事業の平均観客入場率であり、平成24年度から28年度の5年間の平均観客入場率75%を目指します。</p>	

課題 ②多くの市民が芸術文化に触れる機会を提供します。

《現状と今後の方針》

ミューズは開館以来、様々な事業に取組み多くの方々に芸術文化に触れる機会を提供してきましたが、さらに幅広い世代へ芸術文化に触れる機会を提供し、いっそうの普及と拡大を図っていくことが求められます。

そこで今後も、多くの市民が様々なジャンルの芸術文化に触れる機会を継続して提供していきます。

具体的な方策	<p>●市民の誰もが芸術文化に気軽に親しめる公演の充実</p> <p>様々なジャンルで、幅広い世代の方が楽しめる公演を企画し、「気軽にクラシック」「500円コンサートシリーズ」「名画シアター」など、誰もが気軽に低料金で楽しめる公演の充実に努めます。また、「やさしい能楽」など、初心者から気軽にその世界を楽しむことができる事業にも積極的に取り組んでいきます。</p>
	<p>●アウトリーチ事業（出張コンサート）などの充実</p> <p>市内の小・中・高等学校や、リハビリテーションセンター、高齢者施設などを対象に、ミューズに出演するアーティストによる出張コンサートや寄席公演を実施し、日頃ミューズに会場する機会の少ない子供や高齢者が芸術文化に親しむきっかけを作ります。また、まちづくりセンターとの連携事業では、地域の方が気軽に芸術文化に触れる機会を提供していきます。</p>
	<p>●情報市場（中庭）でのイベントの実施</p> <p>誰もが気軽に楽しめるミューズオリジナルのイベントを開催します。また、自主事業に関連した“賑わいの場”“集いの場”として活用することで、ミューズが多くの市民にとって開かれた場となるように努めていきます。</p>

指標	普及事業の開催数	【現状値】15回（H22）⇒【目標値】100回（5年間）
	<p>【説明】芸術文化に触れる機会を提供し、その普及と拡大への取組状況を示す指標です。現状値は平成22年度の普及事業の開催数であり、平成24年度から28年度の5年間で100回を目指します。</p>	

課題 ③ ミューズのシンボル、パイプオルガンの普及

《現状と今後の方針》

ミューズでは大ホールに設置されている国内最大級のパイプオルガンを使って、スクールを開講したりコンサートを開催してきました。今後も、このパイプオルガンをミューズのシンボルとしてさらに多くの方に親しんでいただくために、質の高い演奏を聴く機会を提供するほか、気軽に聴いていただくことや、直接演奏の体験をしていただける機会を提供していきます。

具体的な方策

●優れたアーティストによる公演の充実

国内最大級のパイプオルガンの響きを聴いていただくために、国内外の優れた演奏家による公演を実施し、大オルガンの本格的な演奏を聴く機会を提供していきます。

●若手オルガニストの育成

若手の演奏家をホール専属オルガニストに登用し、大ホールのオルガンを広く普及するための様々な企画や演奏会へ参加する機会を設け、ミューズのパイプオルガンを通じて幅広く活躍できる演奏家に育成していきます。

●気軽に鑑賞し、体験できる機会の充実

0歳から入場できる「お昼どき 500 円コンサート」を継続的に実施し、気軽に鑑賞していただける機会を提供します。また、「ミューズとことこ探検ツアー」などミューズのパイプオルガンを演奏体験できる企画を実施していきます。さらに「ミューズパイプオルガンスクール」では、年間を通じて本格的に演奏技術の習得を体験していただきます。

指標

パイプオルガン関連事業の入場者数

【現状値】 8,000 人 (H22) ⇒ 【目標値】 50,000 人 (5年間)

【説明】パイプオルガン普及事業の成果を示す指標です。現状値は平成22年度のパイプオルガン関連事業の入場者数であり、平成24年度から28年度の5年間で50,000人を目指します。

課題 ④ 誰もが参加できる体験講座などを開催します。

《現状と今後の方針》

近年、芸術文化に対するニーズがますます多様化する中、様々な分野で鑑賞だけでなく自ら参加し、体験・創造する事業の実施が求められています。そこで今後も、誰もが参加でき、体験できるワークショップや講座などを開催し、芸術文化に深く触れていただく機会を提供していきます。

具体的な方策

●市民参加事業の拡大

パイプオルガンスクールや能楽ワークショップなど、専門家の指導により本格的な技能を学習し、その成果を発表する場を提供していきます。また、市民参加による合唱団とプロのオーケストラの共演など、より高度で質の高い芸術文化を体験する機会を提供していきます。

●青少年の豊かな人間性を育む事業の拡大

ミューズで開催する公演に関連し、高校生とプロのオーケストラとの共演、小・中・高校生の公開リハーサルへの招待、また近隣大学の協力や教育機関等との連携により若い世代が芸術文化に深く関わる機会を提供し、次代を担う人材の育成を目指していきます。

●文化講座やワークショップの開催

鑑賞するだけでなく、誰もが能動的に芸術文化に親しむことができるよう、子供から大人まで参加できるワークショップを開催します。また文化的な講座を通じてより深く芸術文化に親しむ機会を提供していきます。

指標

体験講座への参加者数

【現状値】 80 名 (H22) ⇒ 【目標値】 500 名 (5年間)

【説明】誰もが参加できる体験講座への取り組みの成果を示す指標です。現状値は平成22年度の体験講座の参加者数であり、平成24年度から28年度の5年間で500名を目指します。

1 優れた芸術文化を提供・発信していきます

課題 ⑤芸術文化に関わる情報を積極的に収集して広く発信します。

《現状と今後の方針》

芸術文化活動の拠点としてのミューズは、自主事業の実施とそれに伴う様々な芸術文化に関わる情報を収集し発信していくことが求められます。これまでも様々な形で情報を発信していますが、市民の要望はより多様化し、情報を取り巻く状況も時代とともに大きく変動しています。こうした状況をふまえ、ミューズでは既に市民に親しまれている情報媒体のみならず、時代に合った様々な新しい媒体も十分に活用し、芸術文化に関わる有益で新鮮な情報を発信していきます。

具体的な方策

●芸術文化情報の収集・発信

アーティストや芸術作品に関する情報を収集し、自主事業や情報媒体を通じて発信するとともに、市内のまちづくりセンターや学校等への情報提供を通じて、広く市民に新鮮な情報を発信していきます。また、芸術文化の専門誌等を揃えた閲覧コーナーを設置するなど、芸術文化を取り巻く情報に誰もが触れられる環境づくりに努めていきます。

●広報媒体の充実

自主事業の告知を行なう月刊情報紙や公演ちらし、芸術文化に関する総合的な読物である『インフォ・マート』など、広報媒体をいっそう充実させることで、多くの市民が芸術文化に関心を持つきっかけをつくります。また新聞・雑誌・フリーペーパーなどを活用し、多様な関心を持つ市民に広く情報を発信していきます。

●ホームページを活用した新鮮な情報の発信

ミューズのホームページを活用し、新鮮でわかりやすい情報を公開します。平成23年度には、最新の情報をいち早く伝えられるようトップページに速報機能を追加しました。今後も、世界のアーティストや文化施設など文化関連のホームページへリンクするなど、より広範囲で専門的な情報を効率的に発信できるよう工夫していきます。

指標	ホームページへのアクセス件数	【現状値】 280,000 件 (H22) ⇒ 【目標値】 1,500,000 件 (5年間)
	【説明】芸術文化情報の収集と発信への取り組みの成果を示す指標です。現状値は平成22年度のホームページアクセス件数であり、平成24年度から28年度の5年間で1,500,000件を目指します。	



2

文化振興を通じて豊かな社会づくりに貢献します

2 文化振興を通じて豊かな社会づくりに貢献します

課題 ①芸術文化を通じて地域コミュニティの活性化を促進します。

《現状と今後の方針》

ミュージズの自主事業では、ホールで行う、いわゆる鑑賞型の事業のみならず、地域と連携し市民の目線に立った事業を展開することも求められます。そこで今後も、引き続き教育委員会やまちづくりセンターなどの協力のもと、市内の各施設や市民団体と緊密な連携を図り、芸術文化を通じて地域コミュニティの活性化を促進していきます。

具体的な方策	<p>●まちづくりセンターなどと連携した地域の活性化の支援 市内各地区のまちづくりセンターでの公演の開催、市内のイベントと連携した事業を展開するなど、各地区の文化状況の把握と活性化の支援に努めていきます。</p>
	<p>●市内の教育機関、文化団体や市民団体との連携 教育委員会との協力体制を活かし、市内小中高等学校、大学など近隣教育機関や文化団体、市民団体との連携を図り、学生とプロのオーケストラの共演や、市民の実行委員会と「夢あかり音楽会」を開催するなど、市民との協働による事業展開を目指していきます。</p>
	<p>●青少年や高齢者等、市民のための無料招待公演の実施 公演等に来場する機会が少ない青少年や高齢者、障害者等を招待し、誰もが芸術文化に身近に触れる機会を提供していきます。</p>

指標	地域コミュニティ活性化事業の開催数	【現状値】 15 回 (H22)⇒【目標値】 100 回 (5 年間)
	【説明】 地域コミュニティ活性化への取組状況を示す指標です。現状値は平成22年度の地域コミュニティの活性化を促進する事業の開催数であり、平成24年度から28年度の5年間で100回を目指します。	

課題 ②地域の芸術文化団体・芸術家などの支援と育成をめざします。

《現状と今後の方針》

ミュージズには、高い水準の芸術文化の発信と同時に、市民の活動を支援することが求められます。最近では、市民による文化活動も一層多様になり、水準の高いものになりつつあります。そこで今後も、時代の様々なニーズに応え、地域の芸術家や文化団体の支援・育成に積極的に取り組んでいきます。

具体的な方策	<p>●市内文化団体の活動支援 市内に活動の拠点を置き、継続的かつ活発な活動を展開する文化団体の情報を収集し、その活動を支援します。ミュージズの自主事業との連携を図り、内容に応じた発表の場を提供することで、地域に根ざした文化活動のより一層の充実を図っていきます。</p>
	<p>●市内在住・出身の芸術家の活動支援 市内在住・出身で国際的に活躍する芸術家やこれから活動の場を広げようとする芸術家の情報を幅広く収集し、ミュージズでの事業等に出演いただくなど、その活動を積極的に支援し、地域の活性化を図っていきます。</p>
	<p>●芸術家を目指す学生の活動支援 所沢市に拠点を置く教育機関などと連携を図り、将来芸術家めざす若者に学習と発表の場を提供し、活動の支援を行っていきます。また、芸術文化活動の企画・制作などアートマネジメントを学ぶ学生のインターンシップの受け入れを積極的に行っていきます。</p>

指標	芸術文化活動の支援や育成につながる事業の開催数	【現状値】 5 回 (H22)⇒【目標値】 50 回 (5 年間)
	【説明】 地域の芸術文化団体・芸術家などの支援と育成への取組状況を示す指標です。現状値は平成22年度の芸術文化活動の支援や育成につながる事業の開催数であり、平成24年度から28年度の5年間で50回を目指します。	

課題 ③創造事業を推進し、広く発信していきます。

《現状と今後の方針》

ミュージズには、古くから受け継がれた豊かな芸術文化を育み、さらに後世に伝えられる優れた芸術作品の創造を推進していくことが求められます。20世紀以降は「芸術を消費する時代」と言われていますが、こうした状況を打破するため、後世に伝えられるべき、優れた創造事業がいまこそ求められます。そこでミュージズは、国際的な資質を有する芸術家と共同で創造事業を推進し、その成果を広く発信していきます。

具体的な方策

●芸術家の創造活動の支援

特に水準の高い活動を行う芸術家や芸術団体を継続的に支援し、活動の場を提供することで、地域に根ざした創造活動を促進します。また、コンクールの開催などその成果を広く市民に発表することで、創造の意義と楽しさを感じてもらい、芸術的な創造を支援するネットワークを形成していきます。

●市民参加による芸術的創造の促進

市民の活力を生かした芸術文化活動を推進し、市民の手作りによる創造をはぐくみます。ミュージズを舞台作品、音楽作品、美術作品などの総合的な発表の場とし、多くの市民が創造に触れることができる環境を整備していきます。また、自主事業の一部にボランティアを登用するなど、ミュージズの事業を通して芸術文化の創造活動に市民が参加できる機会を提供します。

●創造事業の推進と発信

優れた芸術的な才能を有し、国際的な資質をもつ芸術家に新作の委嘱（創作の依頼）を行うなど、様々な分野で後世に伝えられるべき優れた作品の創造を促進し、その成果を広く発信していきます。

指標	創造的事業の開催数	【現状値】 3回 (H22)⇒【目標値】 25回 (5年間)
		【説明】 創造事業の推進への取組状況を示す指標です。現状値は平成22年度の創造的事業の開催数であり、平成24年度から28年度の5年間で25回を目指します。



ミュージズ“とことこ”探検ツアー



番外・所沢寄席（柳瀬まちづくりセンター）



劇団かかし座「長靴をはいたねこ」（並木まちづくりセンター）

3

利用しやすいミュージズをめざします

3 利用しやすいミューズをめざします

課題 ①利用しやすいミューズをめざします。

《現状と今後の方針》

ミューズの大・中・小ホールや展示室、第2展示室、会議室等の施設は、平成22年度では、年間約46万人の皆様にご利用いただいております。全施設平均86%という高い利用率となっています。今後も多くの方にご利用いただくためには、さまざまな利用に対応できるサービスが求められています。

そこで今後も、利用者ニーズの把握と対応に努め、さらに利用者の利便性の向上を図っていきます。

具体的な方策	<p>●申請・受付時のサービスの充実 事業団では、施設利用料金のコンビニエンスストアでの支払いや郵便局での振替を可能にするなど、利便性の向上に努めてきました。今後も、施設利用申請や利用受付にかかる時間をより短縮できるよう、手続きの簡略化や職員の業務スキルのアップを図るなど、施設利用サービスの充実に努めていきます。</p>
	<p>●利用者ニーズの把握と対応 多様化する利用者ニーズを常に広く把握するため、定期的に利用者アンケートを実施し、今後も利用者の要望や意見を取り入れ、さらに利用しやすいミューズを目指していきます。</p>

指標	<p>施設利用者の満足度</p>	<p>【現状値】79%（過去3年平均）⇒【目標値】100%（5年間）</p>
	<p>【説明】利用しやすいミューズへの取り組みの成果を示す指標です。現状値は、平成21年度から23年度にかけて実施した施設利用者アンケートにおける、施設内の案内表示や設備・備品、清掃、並びに職員の対応についての施設利用者の満足度の平均値であり、平成24年度から28年度の5年間で100%を目指します。</p>	

課題 ②親しみやすいミューズをめざします。

《現状と今後の方針》

ミューズは大・中・小ホール、展示室や会議室、レストラン等の各施設が、全国的にも珍しい分棟型となっており、様々な利用形態に対応できる文化施設として、多くの方にご利用いただいております。平成22年度に実施した市民アンケートの結果では、ミューズを利用したことのある方の割合が平成18年度の同様の調査より2.5%アップしていました。また、メンバーズ倶楽部会員も年々増加しています。今後も、サービス向上に努め、より多くの方々に利用しやすく、親しみやすいミューズを目指していきます。

具体的な方策	<p>●お客様ニーズの把握と迅速な対応 施設利用者の皆さまから寄せられたご意見は、すべて内容を記録し、職員全員に周知を図り、いただいたご意見について最善の対応を検討し、ミューズの管理運営に活かしてまいります。</p>
	<p>●メンバーズ倶楽部の充実 従来のチケットの優先販売、割引販売に加えて、メンバーズ優待公演や公開リハーサルへの招待、またアーティストとの交流イベントなど、メンバーズ限定の特典を充実するほか、公演の最新情報を優先して提供するなど、魅力ある会員特典を用意し会員数の増大を図っていきます。</p>
	<p>●効率的で利用しやすいチケット販売方法の充実 チケットをより効率的にご購入いただけるよう、自動音声案内によるチケットの購入方法等の導入を検討します。</p>

指標	<p>メンバーズ倶楽部の会員数</p>	<p>【現状値】3,300人（H23）⇒【目標値】4,000人（5年間）</p>
	<p>【説明】親しみやすいミューズへの取り組みの成果を示す指標です。現状値は、平成23年度のミューズメンバーズ倶楽部の会員数であり、平成24年度から28年度の5年間で4,000人を目指します。</p>	

4

健全な事業団経営に努めます

4 健全な事業団経営に努めます

課題 ①健全な組織体制づくりを進めます。

《現状と今後の方針》

財団法人所沢市文化振興事業団（以下、「事業団」）は、ミュージズの指定管理者であると同時に、公益財団法人への移行を目指しており、これまで以上に法人としての独立性や公益性、透明性が強く求められます。

そこで今後は、こうした社会要請に応え、限られた人員で効率的に事業団の責務を果たせるよう、組織の効率化を図るとともに、適正な個人情報の保護と積極的な情報公開に努め、効率的で安定した、透明性の高い健全な組織体制づくりを進めていきます。

具体的な方策

●適正な人員管理

限られた人員で効率的に事業団の責務を果たせるよう、業務に応じた人員体制の見直しと業務内容の精査・改善を継続的に図り、適正な人員管理を行っていきます。

●人事評価制度の活用

現行の評価制度について、目標管理制度との連動による目標達成プロセスの評価の明確化を図るとともに、評価内容を職員にフィードバックさせるなど、評価の公正性と納得性を高め、職員の自己改善や能力開発に活用できるような仕組みへと見直していきます。

●人材の育成

現行の「職員研修プラン」を事業団の人員構成や業務内容に即したものと見直しを進め、計画的・効率的な職員研修を行うとともに、目標管理や人事評価制度を職員の自己改善や能力開発のためのツールとして活用し、自律的に職務を遂行できる人材の育成を進めます。

●個人情報の保護

業務上取得した個人情報については、利用目的の範囲内でのみ取り扱うことを厳守するとともに、情報流出を防ぐため、職員や委託業者に対し、定期的な啓発活動に努めます。また、悪質化するウイルス対策への強化を図るため、システムのセキュリティ強化を図ります。

●積極的な情報公開

事業団情報公開規程に基づき、適正な情報の開示に努めます。また、公益法人制度改革への対応にとどまらず、より透明性の高い法人として、活動状況や財務状況を見やすく分かりやすい表現で積極的に公開していきます。

取 り 組 み	方 策 名	説 明
	人事評価制度の活用	平成25年度末までに人事評価制度を見直します。
	人材の育成	平成25年度末までに「職員研修プラン」を見直します。

【積極的な情報公開】

ミュージズホームページ（<http://www.muse-tokorozawa.or.jp>）では、予算書や決算書、活動報告のほか、財務状況や自主事業の入場率・収支率を公開するなど、積極的な情報公開により、透明性の向上に努めています。



課題 ②健全な財政運営を進めます。

《現状と今後の方針》

事業団には、市民サービスの向上と経費の節減が常に求められています。そのような中で多種多様な市民ニーズに応えていくためには、メリハリのある事業展開と無駄のない財政運営が必要です。そこで今後は、既存の自主事業評価表を明確に自己評価とのツールとして活用することより、効果的な事業を展開するとともに、予算の効率的な執行に努め、健全な財政運営を進めていきます。

具体的な方策

●予算の効率的な執行

事業団の経費の中では、人件費のほか、施設維持管理に係る委託料・光熱水費、自主事業の公演料・広告宣伝費などが大きな割合を占めています。このため、適正な人員管理や委託業務内容の精査、クールビズ・ウォームビズを柱とした節電、節水等により経費の節減に努めるほか、自主事業においては共催公演の実施や効果的な宣伝方法の調査・研究をすすめるなど、予算を効率的に執行していきます。

●事業評価制度の活用

現在、自主事業の実施にあたっては、来場者層や収益率などのデータから自主事業評価表を作成しています。今後は、明確に自己評価とのツールとして活用し、事業団の運営方針に則した効率的な事業の実施と予算配分に努めていきます。

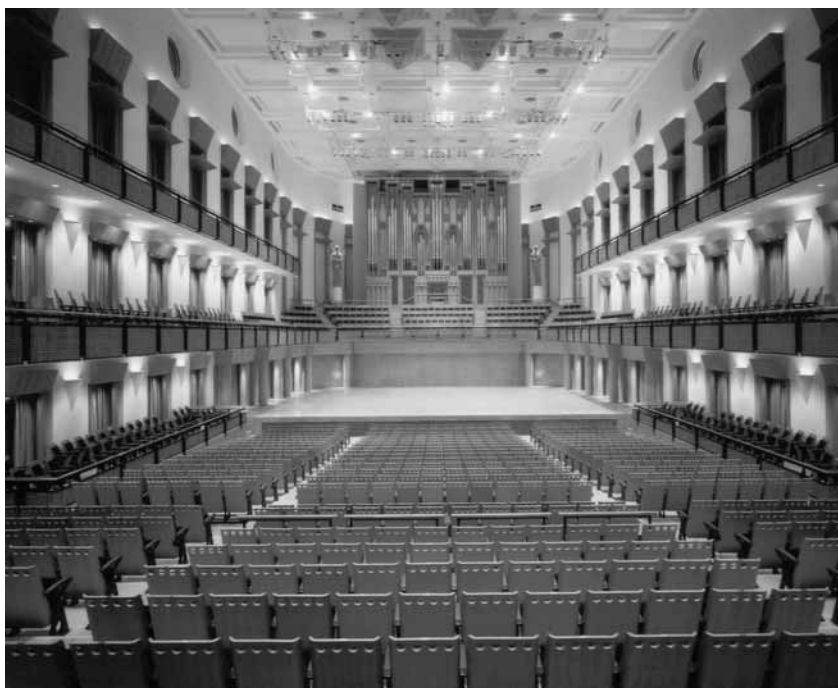
●自主財源の確保

現在、「有料広告の掲載に関するガイドライン」に基づき、印刷物やホームページへの有料広告掲載枠の設置などによりスポンサー収入を得ているほか、テレビドラマやCMの撮影場所として協力し、施設の知名度アップと収益の向上を図っています。今後も、事業団が管理・制作するものの中で広告媒体として活用可能なものについては積極的に広告掲載を検討するほか、より有利な条件で積立資産を運用するなど、様々な方法で自主財源の確保に努めていきます。

取組み	方策名	説明
	事業評価制度の活用	事業の目標ごとに有効性や適正性をはかり、効率的な事業の実施を促すような仕組みを平成25年度末を目途に構築します。

【自主財源の確保】

テレビドラマやCMなどの撮影場所として積極的に協力し、施設の知名度アップと収益の向上に努めています。



アークホール（大ホール）



マーキーホール（中ホール）



情報市場

5

安全・安心な施設の維持管理に努めます

5 安全・安心な施設の維持管理に努めます

課題 ①環境に配慮した地球に優しい施設の維持管理に努めます。

《現状と今後の方針》

施設の維持管理にあたっては、所沢市環境方針を遵守し、所沢市の取り扱いに準じて実施しています。特に今後は、所沢市環境方針の基本方針(4)(地球温暖化防止に向け、廃棄物の減量化や再資源化、省資源・省エネルギーを推進し、緑豊かな恵まれた環境を次世代に引き継いでいきます。)を重点目標とし、公共施設として更に地域に貢献できるよう、施設の維持管理に努めていきます。

具体的な方策	<p>●省資源・省エネルギー推進 備品等購入時には、可能な限り長期間使用できるものを選定し、資源の効率的な活用に努めるとともに、エネルギー使用の多い夏期及び冬期を省エネルギー強化期間とし、平成18年度より重点事項を定め、施設利用者の皆様にもご協力を頂きながら、クールビズ・ウォームビズを継続実施しておりますが、省エネルギー設備機器(LED電球等)の導入を拡充するなど、更なる省エネルギーに努めていきます。</p>
	<p>●廃棄物の減量化・再資源化の推進 廃棄物の減量化を図るため、古紙回収及び、消耗品はグリーン購入を基本としていきます。更に、再資源化を念頭に廃棄物の分別を徹底し減量化に努めていきます。</p>

指標	温室効果ガス排出量の削減	【現状値】 1,824t-co2 (H22)⇒【目標値】 1,642t-co2 (H28)
	<p>【説明】環境に配慮した施設運営を行った成果を示す指標です。現状値は平成22年度の温室効果ガス排出量であり、平成24年度から28年度の5年間で10%の削減を目指していきます。</p>	

課題 ②安全・安心な施設の維持管理に努めます。

《現状と今後の方針》

ミュージズの維持管理にあたっては、所沢市と協議をしながら施設・設備の修繕を実施しているほか、バリアフリーやユニバーサルデザインへ配慮した改修も進めています。しかしながら、開館から20年近くが経過しており、近い将来、大規模な修繕を実施する必要があります。また、より安全・安心に施設をご利用いただくためには、お客様の安全を第一に考え、迅速かつ的確に行動できる職員の配置が必要です。

そこで今後は、施設の利用に支障を来さないよう計画的な修繕を進めるほか、自衛消防・防災避難訓練、救命講習などの充実により職員全員のスキルアップを図り、安全・安心・快適な施設の維持管理に努めていきます。

具体的な方策	<p>●小さなお子様や、身体の不自由な方、高齢者にもやさしい施設の維持管理 施設のご利用に際しては、施設で働く全ての職員が積極的にお客様へお声掛けをし、ご不便をお掛けしないように、また不自由な思いをされないように、親切な職員がいる施設を目指します。</p>
	<p>●施設改修等の計画的な推進 施設改修や大規模修繕にあたっては、所沢市と連携しながら、施設利用に支障がないよう計画的に修繕を進めるとともに、バリアフリー・ユニバーサルデザインに十分に配慮した、どなたにもやさしく、利用しやすい安全・安心・快適な施設を目指した改修に努めていきます。</p>
	<p>●災害時の対応についてのスキルの向上 従来職員のみで行っていた自衛消防・防災避難訓練について、今後は施設利用者・来訪者の方々にも参加を呼びかけるなど、より実態に即した効果的な訓練を実施していきます。また、AED設備を増設するとともに、施設で働く全ての職員が容易に使用できるように研修を実施するほか、全ての職員の救命講習会受講修了を目指していきます。</p>

取り組み	方策名	説明
	災害時の対応についてのスキルの向上	<p>年2回実施していた自衛消防・防災避難訓練を年3回以上実施していきます。 施設で働く全ての職員の救命講習会の受講修了を目指していきます。</p>

財団法人所沢市文化振興事業団 運営方針（平成24年度～28年度）

平成24年 3月発行

発行・企画・編集：財団法人所沢市文化振興事業団

〒359-0042 所沢市並木1-9-1

Tel. 総務課／04-2998-6311 事業課／04-2998-6500

Fax. 04-2998-6566

URL <http://www.muse-tokorozawa.or.jp>

